



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東
コード番号 6199 URL <http://www.seraku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮崎 龍己
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 小関 智春 (TEL) 03 (3227) 2321
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績（2023年9月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	5,364	6.6	525	6.2	529	△16.7	300	△25.8
2023年8月期第1四半期	5,030	22.4	494	150.7	636	99.7	405	137.6

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 299百万円 (△25.8%) 2023年8月期第1四半期 404百万円 (137.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	21.53	21.50
2023年8月期第1四半期	29.06	28.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	11,430	6,858	59.7
2023年8月期	11,253	6,904	61.0

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 6,822百万円 2023年8月期 6,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	10.40	10.40
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,700	5.3	990	△9.3	990	△22.8	640	△25.2	45.75
通期	22,000	5.5	2,240	15.2	2,240	3.9	1,500	1.9	107.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期1Q	13,988,400株	2023年8月期	13,988,400株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	162,430株	2023年8月期	130株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期1Q	13,968,651株	2023年8月期1Q	13,953,870株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの国内感染症法上の位置づけが5類に移行し、行動制限の緩和から人流の増加やインバウンド需要の回帰等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、長引くロシア・ウクライナ間の紛争をはじめとした不安定な国際情勢等の影響から、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安、インフレなど、依然として先行き不透明な景況が続いております。

当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、デジタル技術の進展・普及に伴い、あらゆる産業で企業の生産性向上や競争力強化を目的としたIT・DX関連のニーズは高まっており、クラウドを活用したシステムインテグレーションやシステム運用・保守等へのIT投資需要は堅調に推移いたしました。経営戦略を支える最適なITインフラの重要性が増し、そのためのサービスや人材への需要は拡大している一方、国内のIT人材不足やITスキル向上には大きな課題を有しております。当社グループでは、質の高いエンジニアの採用・育成に取り組むほか、ビジネスパートナーを積極的に活用して、様々なITサービスの提供を行っております。

このような環境の下、良質なエンジニアの育成や社内エンジニアのDXシフト等によるサービスの価値向上に取り組むほか、ビジネスパートナーリソースの活用も含め、IT・DX領域の社会実装と運用を担う「デジタルインテグレーター」としての事業基盤の整備を行いました。

これらの結果、当社グループの売上高は5,364,245千円(前年同期比6.6%増)、営業利益は525,126千円(前年同期比6.2%増)、経常利益は529,752千円(前年同期比16.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は300,792千円(前年同期比25.8%減)となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結会計期間より、従来の「システムインテグレーション事業」、「デジタルトランスフォーメーション事業」、「みどりクラウド事業」及び「機械設計エンジニアリング事業」の4区分より、「システムインテグレーション事業」、「デジタルトランスフォーメーション事業」を統合して「デジタルインテグレーション事業」とし、「デジタルインテグレーション事業」「みどりクラウド事業」及び「機械設計エンジニアリング事業」の3区分に変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① デジタルインテグレーション事業

デジタルインテグレーション事業においては、ITインフラソリューションとしてITシステムの構築・運用・保守を手掛けるほか、IoTクラウドサポートセンターでは24時間365日体制でクラウドインフラやIoTサービスの運用を提供し、企業のICT環境のクラウド化を幅広く支援しております。また、クラウドシステムの運用・定着化領域として統合人事システム「COMPANY」の導入・定着化支援を手掛けるほか、株式会社セラクの完全子会社である株式会社セラクCCCにおいて、「Salesforce」の定着化支援を軸としたカスタマーサクセスソリューションサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、ITシステムの構築運用、クラウド基盤への移行や24時間365日対応のマネージドサービスを中心とした底堅いIT投資需要のもと、ビジネスパートナーの活用や関係構築を含め、更なる取引拡大を可能とする体制の構築に注力いたしました。また、株式会社セラクCCCにおいては、Salesforce関連の新サービスの開発や協業等を行うほか、データ分析やデジタルマーケティングに対応できるエンジニアを育成し、サービスの拡充と付加価値向上に努めました。

これらの結果、当セグメントの売上高は5,141,159千円(前年同期比7.3%増)、セグメント利益は531,700千円(前年同期比8.3%増)となりました。

② みどりクラウド事業

みどりクラウド事業では、ITを用いて農業・畜産・水産のDX化を支援する「みどりクラウド」「ファームクラウド」などのプラットフォームサービス、一次産業をはじめとした各産業分野の個別課題を解決するソリューションサービスを展開しております。2023年3月には、青果流通の現場に二次元バーコードやクラウドシステムなどを用いたデジタル技術を導入する「みどりクラウド らくらく出荷」をリリースし、全国のJAに向けた拡販を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、プラットフォームサービスの利用拡大を目指すほか、「みどりクラウド らくらく出荷」における営業活動の推進、新商品開発等に注力いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は71,716千円(前年同期比25.7%減)、セグメント損失は18,185千円(前年同期はセグメント損失12,165千円)となりました。

③ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社セラクビジネスソリューションズでの3DCAD分野の技術、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術、通信建設及び情報通信に関する技術を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、CADエンジニアの採用・育成に注力した他、安定した稼働率や新しい技術領域で案件が獲得できたことから、売上高は堅調に推移いたしました。引き続き各領域での案件獲得が期待され、教育によるエンジニアの付加価値向上や地理的展開を図りつつ、企業規模を拡大させてまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は170,371千円（前年同期比10.4%増）、セグメント利益は8,310千円（前年同期比47.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ177,298千円増加し11,430,963千円となりました。これは主に、現金及び預金が96,532千円減少したものの、繰延税金資産が151,343千円、敷金及び保証金が46,682千円、流動資産その他が36,257千円、保険積立金が29,539千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ222,950千円増加し4,572,398千円となりました。これは主に、賞与引当金が542,270千円、未払法人税等が101,372千円、未払消費税等が92,907千円、流動負債その他が41,986千円減少したものの、未払金が1,016,310千円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ45,651千円減少し6,858,565千円となりました。これは主に、利益剰余金が155,314千円増加したものの自己株式が199,953千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2023年10月13日の「2023年8月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,867,019	6,770,486
売掛金及び契約資産	2,562,001	2,561,370
仕掛品	34,497	47,282
原材料	60,820	57,017
その他	202,976	239,234
貸倒引当金	△1,575	△1,575
流動資産合計	9,725,739	9,673,816
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	175,696	172,966
工具、器具及び備品(純額)	41,257	53,176
その他	5,746	5,219
有形固定資産合計	222,700	231,362
無形固定資産		
ソフトウェア	794	704
その他	1,662	1,662
無形固定資産合計	2,456	2,367
投資その他の資産		
投資有価証券	108,991	105,651
繰延税金資産	501,916	653,259
敷金及び保証金	288,812	335,494
保険積立金	375,892	405,431
その他	27,154	23,579
投資その他の資産合計	1,302,767	1,523,418
固定資産合計	1,527,925	1,757,147
資産合計	11,253,664	11,430,963
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,402	127,006
1年内返済予定の長期借入金	183,324	183,324
未払金	1,417,198	2,433,509
未払法人税等	500,088	398,715
未払消費税等	541,648	448,740
賞与引当金	1,105,938	563,668
その他	300,343	258,357
流動負債合計	4,178,943	4,413,321
固定負債		
長期借入金	61,122	52,791
退職給付に係る負債	102,318	99,781
その他	7,063	6,504
固定負債合計	170,503	159,076
負債合計	4,349,447	4,572,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,006	307,006
資本剰余金	504,756	504,756
利益剰余金	6,052,693	6,208,007
自己株式	△199	△200,152
株主資本合計	6,864,256	6,819,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	33
退職給付に係る調整累計額	3,656	2,742
その他の包括利益累計額合計	3,690	2,776
新株予約権	36,270	36,171
純資産合計	6,904,217	6,858,565
負債純資産合計	11,253,664	11,430,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	5,030,379	5,364,245
売上原価	3,762,274	4,054,148
売上総利益	1,268,105	1,310,097
販売費及び一般管理費	773,611	784,971
営業利益	494,493	525,126
営業外収益		
受取利息及び配当金	391	393
助成金収入	140,781	3,820
その他	1,270	819
営業外収益合計	142,443	5,033
営業外費用		
支払利息	747	225
その他	—	181
営業外費用合計	747	407
経常利益	636,190	529,752
特別利益		
新株予約権戻入益	100	98
特別利益合計	100	98
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3,339
特別損失合計	—	3,339
税金等調整前四半期純利益	636,290	526,511
法人税、住民税及び事業税	342,114	376,659
法人税等調整額	△111,377	△150,940
法人税等合計	230,737	225,719
四半期純利益	405,553	300,792
親会社株主に帰属する四半期純利益	405,553	300,792

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	405,553	300,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	—
退職給付に係る調整額	△977	△914
その他の包括利益合計	△1,040	△914
四半期包括利益	404,512	299,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,512	299,878

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(自己株式の取得)

当社は、2023年11月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し買付を行っております。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行、M&Aにおける活用およびインセンティブ・プランでの活用等ならびに株主の皆様への利益還元を目的として自己株式を取得するものであります。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 400,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.86%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 400,000,000円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2023年11月16日～2024年10月31日 |
| (5) 取得方法 | ①自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け
②東京証券取引所における市場買付 |

3. 支配株主との取引等に関する事項

(1) 支配株主との取引等の該当性および少数株主の保護の方策に関する指針への適合状況

本件自己株式の取得のうち①の取得方法によるものは、当社の支配株主である代表取締役宮崎龍己氏およびその近親者である専務取締役宮崎浩美が売り手として参加することを予定したものであるため、本件自己株式の取得は支配株主との取引等に該当します。

当社が2023年2月15日に開示したコーポレートガバナンス報告書で示している「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」は以下の通りです。

「支配株主との取引においては、市場実勢価格等を勘案し、他の一般取引と同様に適正な条件のもとに行うことを基本方針とし、少数株主に不利益を与えることのないよう適切に対応しております。また、法令や社内規程に基づき、特別委員会からの答申、取締役会の決議を経た上で行うと共に、監査役監査等を通じて、適正な取引が行われているかを監視します。」

本件自己株式の取得は、以上の指針に基づいて決定されたものであります。

(2) 公正性を担保するための措置および利益相反を回避するための措置に関する事項

公正性を担保するための措置として、当社は、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を利用し、取得日前日の株価終値での本件自己株式取得を行う予定です。

利益相反を回避するための措置に関する事項として、利害関係を有する取締役である宮崎龍己氏および宮崎浩美氏を除いた取締役3名(うち社外取締役2名)のみで、本件自己株式取得に係る取締役会の審議および決議を行っております。

(3) 当該取引等が少数株主にとって不利益なものではないことに関する、支配株主と利害関係のない者から入手した意見の概要

本件自己株式の取得に関する取締役会の決議に際しては、支配株主と特別な利害関係を有しない独立役員である西村光治氏および芹沢俊太郎氏ならびに常勤役員である小関智春氏の3名で構成される特別委員会に意見書の作成を依頼し、同日付で、本件自己株式の取得は以下の通り公正性を担保する措置および利益相反回避措置が取られていることから、少数株主にとって不利益ではない旨の意見を得ております。

①本件自己株式取得は、取得時期・方法等に鑑み、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行、M&Aにおける活用およびインセンティブ・プランでの活用等ならびに株主の皆様への利益還元を可能とするものであり、少数株主に対して不利益を与える目的や意図があつて実施されるものではないこと。

②本件自己株式の取得に係る意思決定については、利害関係を有する宮崎龍己氏および宮崎浩美氏を除いた取締役のみで実施することとしており、意思決定過程の公正性の確保、利益相反を回避するための措置が取られていること。

③東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)が利用され、価格の公正性が担保され、かつ他の株主にも取引機会が平等に与えられており、取引条件の公平性が確保されていること。

4. 取得状況

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得した株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得した株式の総数 | 162,300株
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.16%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 199,953,600円 |
| (4) 取得日 | 2023年11月16日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け |

5. その他

2023年11月15日開催の取締役会にて決議した取得し得る株式の総数および総額の上限から、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により取得した株式の総数および総額を控除した株式の数量および金額を上限として、東京証券取引所における市場買付の実施をしております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

詳細については添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (追加情報)」に記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	デジタルインテグレーション	みどりクラウド	機械設計エンジニアリング	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,791,203	96,577	142,598	5,030,379	—	5,030,379
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	11,792	11,792	△11,792	—
計	4,791,203	96,577	154,391	5,042,172	△11,792	5,030,379
セグメント利益又はセグメント損失(△)	490,773	△12,165	15,885	494,493	—	494,493

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△11,792千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注1.2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
	デジタルインテグレーション	みどりクラウド	機械設計エンジニアリング	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,141,159	71,716	151,369	5,364,245	—	5,364,245
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	19,001	19,001	△19,001	—
計	5,141,159	71,716	170,371	5,383,247	△19,001	5,364,245
セグメント利益又はセグメント損失(△)	531,700	△18,185	8,310	521,826	3,300	525,126

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△19,001千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額3,300千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、従来の「システムインテグレーション事業」、「デジタルトランスフォーメーション事業」、「みどりクラウド事業」及び「機械設計エンジニアリング事業」の4区分より、「システムインテグレーション事業」、「デジタルトランスフォーメーション事業」を統合して「デジタルインテグレーション事業」とし、「デジタルインテグレーション事業」「みどりクラウド事業」及び「機械設計エンジニアリング事業」の3区分に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(販売実績)

(単位：千円)

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		対前年同期 増減率(%)
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	
システムインテグレーション	3,567,162	70.9	3,530,982	65.8	-1.0
デジタルトランスフォーメーション	1,224,041	24.3	1,610,177	30.0	31.5
みどりクラウド	96,577	1.9	71,716	1.3	-25.7
機械設計エンジニアリング	142,598	2.8	151,369	2.8	6.2
計	5,030,379	100.0	5,364,245	100.0	6.6